

日本海洋人間学会第2回大会を開催

昨年9月、「海で活動する人」に焦点をあてて研究する学会「日本海洋人間学会」が、東京海洋人間学会が、東京海洋大学の佐野裕司教授を会長として設立されたが、

28、29日、東京・品川区

の東京海洋大学品川校舎 訓練所理事の神田一郎氏 が第2代会長に選出され、来月4月から就任す

30分から3時10分まで は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県気仙沼市から畠山重篤氏 (NPO法人森は海の恋人理事長) を講師に招き、

海と人に関わる多彩な研究を発表

「森と海と教育力」大震災に学ぶ」が行われ、同日午後2時から、同日午後2時

海中における眠気に関するマデ口頭発表セッションとの関連性」(行田直人) のほか学会では、2日間に行われた▽シンポジウム「漁業と教育」▽同「船と教育」▽同「マリンスポーツと教育」の3つのシンポジウムが行われたほか、「小学校における海の教育活動の課題と今後」環境教育の視点から」(飯沼慶一氏・学習院大学) や「船舶運

マデ口頭発表セッションとの関連性」(行田直人) のほか学会では、2日間に行われた。また「津波氏・明治国際医療大学、救命艇の開発とその経緯」(高原満弘氏・国土交通省四国運輸局) や「船員に対する頸肩背腰部の愁訴調査と筋の圧痛検査

果が発表された。